



財団法人日本国際問題研究所
平成 21 年 6 月 2 日

日蘭修好400年記念
日蘭シンポジウム東京会議
～水を通じた気候変動への適応：日蘭両国はどう取り組むか～

地球温暖化によって生じる可能性が高いとされている巨大水害への対策は、日蘭共通の課題です。日本では海面上昇と異常豪雨の研究・対策が進んでいますが、一方、オランダでは 50 年後の海面上昇を見越して高潮壁が建設されるなど具体的な対策がとられています。そこで、水害対策と地球温暖化防止策についての両国の知見と経験を交換するため、オランダから水問題について大変造詣の深い実務者・専門家の方々をお招きし、以下の通り、当研究所で専門家会議を開催いたします。なお、当会議は、同テーマで 6 月 26 日に岐阜県大垣市で開催する「日蘭水シンポジウム 2009 in ぎふ～迫りくる巨大水害にどう対応するか？日蘭の経験を基に～」に先立って行われるものです。

1. 開催日時、場所

日時：平成 21 年 6 月 25 日（木）09：30～12：30
場所：日本国際問題研究所大会議室（東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 11 階）
主催：（財）日本国際問題研究所
後援：駐日オランダ王国大使館、内閣府、外務省、国土交通省、環境省、日本水フォーラム
言語：英語

2. 会議概要

9:30-9:45	主催者挨拶：野上 義二（当研究所理事長） 祝辞：内閣府総合科学技術会議（調整中） 祝辞：フィリップ・ドウ・ヘーア（駐日オランダ王国大使）
9:45-10:05	オープニング・プレゼンテーション 「水が育んだ日蘭関係ーお雇い外国人ファン・ドールン、デレーケとエッセル」 ベルト・トゥッサン（オランダ交通・公共事業・水管理省 歴史顧問）
10:05-	ディスカッション「水を通じた気候変動への適応」
10:05-10:15	議長挨拶：三村 信男（茨城大学教授、地球変動適応科学研究機関長）
10:15-11:30	報告（各 15 分） 廣木 謙三（内閣府参事官） 「気候変動適応型社会の実現に向けた技術の方向性と水」 ヨス・ヴァン・アルフェン（オランダ交通・公共事業・水管理省 洪水対策上級顧問） 「気候変動に適応した新デルタプランー背景、計画と見通しー」 岡積 敏雄（国土交通省河川局国際水管理調整官） 「気候変動への具体的適応策ー洪水対策と総合水資源管理ー」（仮） シェフ・エイゼルマンス（元バングラデシュ駐劬蘭大使、水資源管理上級顧問） 「発展途上地域の適応に向けた国際貢献」 沖 大幹（東京大学生産技術研究所 教授） 「気候変動への賢い適応ー国内政策と国際貢献ー」
11:30-11:45	休憩（15 分）
11:45-12:30	パネルディスカッション 会場からのコメント・質疑応答
12:30:	閉会

日本国際問題研究所 関行 (FAX : 03-3503-7186)

※ お手数ですが、当会議にご出席いただける方は、**6月17日(水)までに**、所定の事項をご記入の上、FAXにてご返送下さい。なお万が一、定員(30名)を超えました場合には、ご出席をご遠慮願う場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

* 英語表記もご記入願います。

ご芳名(日/英) _____

ご所属(日/英) _____

お役職(日/英) _____

ご連絡先 (TEL/FAX) _____

(e-mail address) _____ @ _____

【会場所在地】 〒100-6011 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 11階
日本国際問題研究所大会議室 TEL : 03-3503-7801



問い合わせ先:
(財)日本国際問題研究所 (研究員:下谷内 奈緒/ 研究助手:関 礼子)
TEL: 03-3503-7801 FAX:03-3503-7186 E-mail: seki@jia.or.jp